

図書館だより



名田島小学校

図書担当

平成 29 年 6 月 13 日

図書館からの気づきやお知らせ・お願いをお伝えします。

雨の多い季節になりました。外で遊べない日は、ぜひ読書を楽しんでほしいですね。

名田島小学校では、「学校では、本を読んでいるみたいだけど、家ではあまり読んでいない気がする」という保護者の方からの声を聞き、昨年度から「家読(うちどく)」に取り組んでいます。

「家にいるときは、ゲームばかりしています。」「テレビをついつい見過ぎてしまいます。」と子どもたちからもよく聞きます。

「家読」とは、家庭読書を略した呼び名で、本をきっかけに家族のコミュニケーションを深める一つの方法です。テレビやゲームの時間を10分でも読書の時間に見てみませんか？家族で同じ時間に、本を読むことで、きっと落ち着いた時間を過ごすことができますよ。

「本好きの子どもの中には、家族の中に本好きな人がいる」という話を聞いたことがあります。大人が本を楽しむ姿は、子どもにとって、「本ってそんなに面白いんだ！！」と思うきっかけ作りになると思います。

「クラスみんなDE!ルレー家読(うちどく)！」の取組についてのお願い

さて、「家読」といっても、いったいどんな本を読んだらいいの??

という悩みを持たれる方もいらっしゃるでしょう。そこで、6月は「クラスみんなDE!ルレー家読！」に挑戦していただけたらと思います。



「ルレー家読」とは？

クラスみんなで、一冊の本をみんなで順番に読み、一言感想を書いたら、担任の先生に渡し、次の人にまわしていきます。(本は絵本で短い時間で読めるものを選んでいきます。)

1 お子さんが持って帰ってきた本を読んで、感想などを話してください。

読む方法は基本的には自由です。交代で読んだり、読んであげたりしても構いません。

時にはお子さんに読んでもらってみてはいかがでしょうか。

感想などの話をするときには、思ったことを素直に話してください。

2 簡単で構いませんので、お子さんと話されたこと、本を読んで感じられたこと、家読されての感想などをお書きください。

3 お子さんに感想などを書かせてください。

お子さまが感想を書くことで、自分の考えを文章にして伝える力が培われると考えています。

4 本を読む時間がとれずに、家読ができなかった時は、4日過ぎましたら担任へ戻してください。

お忙しいことと思いますので、無理のない範囲で取り組んでください。

子どもたちが、今までに読んだことがなさそう…だけど、面白い・心にしみる・もっと読みたいくなるような本を選んで、まわしたいと思っています。ぜひ親子で楽しんでいただけたらと思います。学期に一回は、本をまわしていく予定です。どうぞ、ご協力をよろしく願いいたします。(6月19日からスタートします)

★昨年度も、たくさんのおともたちや保護者の方から、いろいろな感想を届けていただきました！！
その中で、1年生と4年生の感想を紹介します。

《感想カードより》

「ぼちぼちいこか」を読んで（1年生）

子どもの感想（抜粋）

なんかいっぱいしてもが
んばってちょうせんしてい
たからすごいなあとおも
いました。
おもしろかったよ。またよ
みたいよ。

お家の人から

読み手が思わず笑顔になるお話で
すね。娘も「ハハハッ」と笑いなが
ら家族に読み聞かせをしてくれま
した。失敗するとつくよくよ考
えてしまう私にはないあの前向きさ
は私に元気をくれました。毎日バタ
バタ仕事に追われる私もぼちぼち
焦らず行きたいものです…。

読んだ本をきっかけに自分を見つめ直すことにもなりますね。
何度読んでもほっとするお話にもっと出会ってみたいですね。

「いのちをいただく」を読んで（4年生）

子どもの感想

毎日の食事では、生き物のお
かげでぼくたちは生きてい
るのだとわかりました。ぼく
は、生き物の力でせいいっぱ
い成長していきたいと思
いました。

お家の人から

物があふれている今の時代
に、つい忘れがちな一番大切
なことが書かれている本で
した。繰り返し見たり、人に
伝えたりできたらいいなと
思います。

子どもと大人、親子で話し合ってみるいい機会になりそうですね。「食の大切
さ」「命の大切さ」についてもっと考えてみたくなる本ですね！！